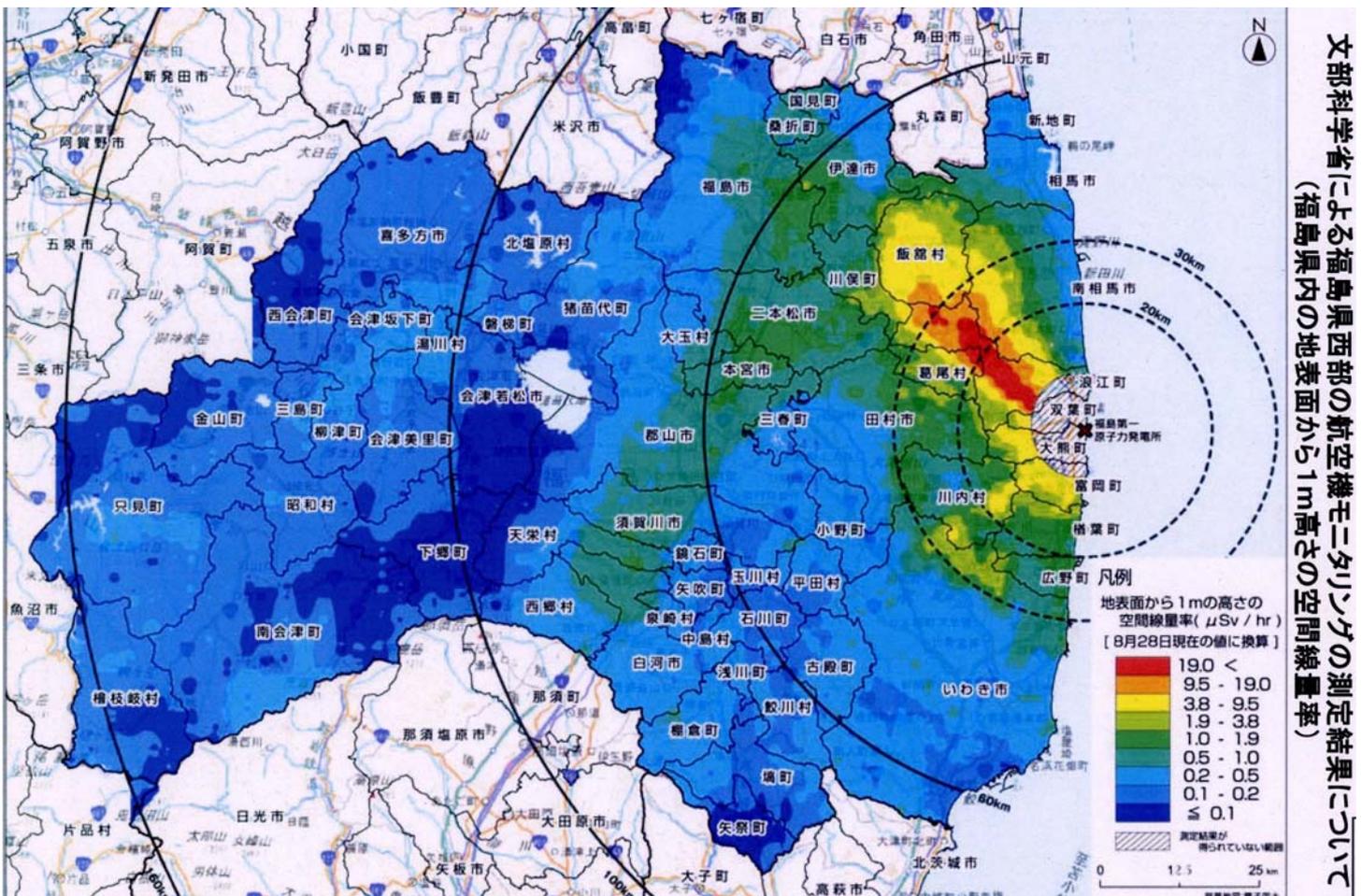


## 男女共同参画会議 監視専門調査会（第14回）資料

平成24年10月19日〔金〕  
いわき市女性相談員 佐藤 暁美

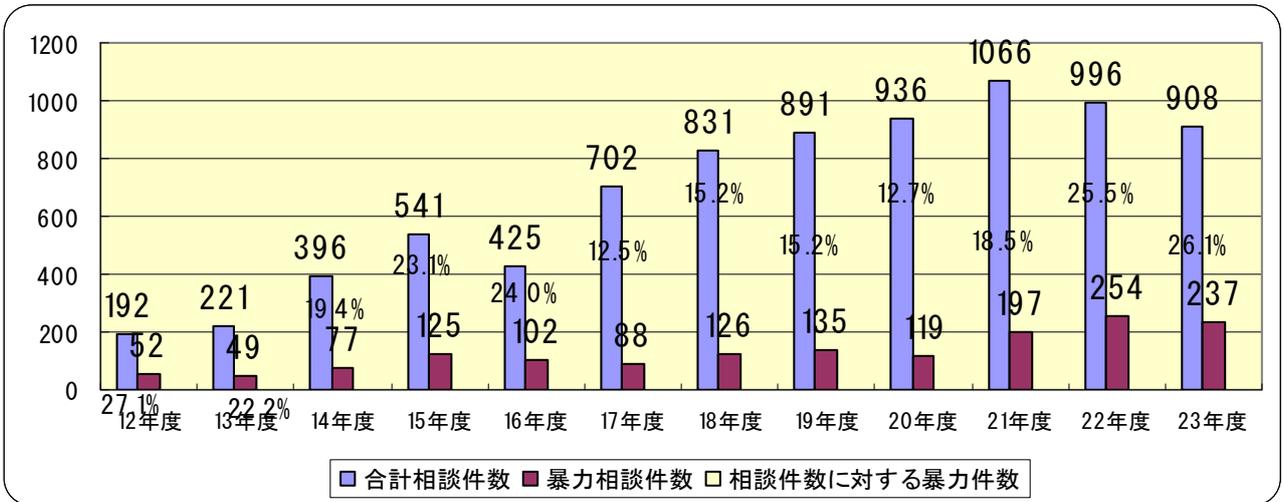
## 1. いわき市における震災状況について

- (1) 人的被害 死亡者数 430名（平成24年10月8日現在）
- (2) 建物被害 全壊 7,889棟 大規模半壊 7,251棟 半壊 25,162棟  
一部損壊 49,876棟（10月3日現在）
- (3) 罹災証明発行件数 95,889件 要調査残件数 220件（10月4日現在）
- (4) 応急仮設住宅 市内建設戸数 3,512戸（着工済み戸数）（10月5日現在）
- (5) 賃貸住宅等 世帯数 2,905世帯 人数 8,102名（10月5日現在）
- ・民間借上げ 2,276世帯 5,732名
  - ・雇用促進（6箇所）623世帯 2,354名
  - ・教員住宅 6世帯 16名
- (6) 市外への避難しているいわき市民 3,523世帯 7,700名（10月5日現在）
- (7) 市内への避難者数 23,787名 双葉8町村 小計 22,940名（9月30日現在）
- |      |      |
|------|------|
| 南相馬市 | 792名 |
| 田村市  | 35名  |
| 川俣町  | 3名   |
| 飯館村  | 17名  |

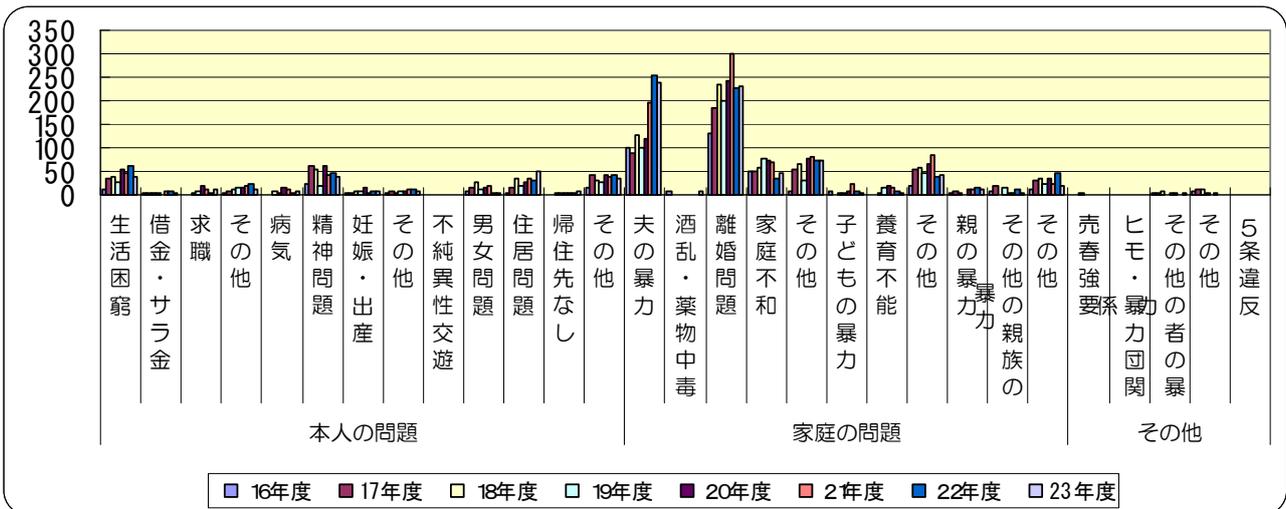


## 2. いわき市における女性相談件数の推移

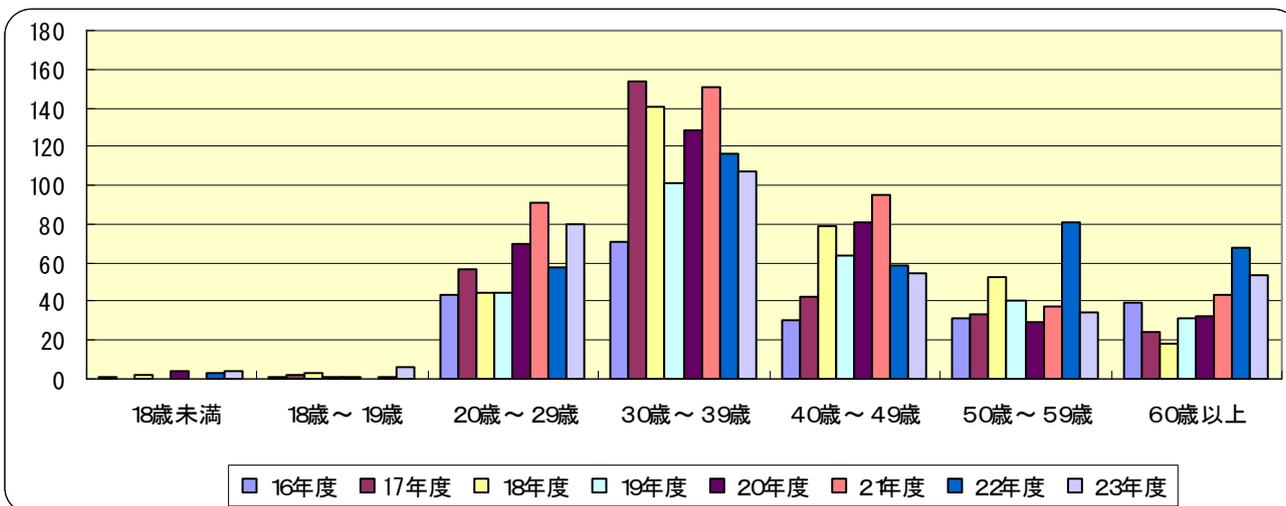
(1) 平成 12 年 8 月から平成 23 年度までの年度別相談件数及び夫からの暴力相談件数  
(主訴)



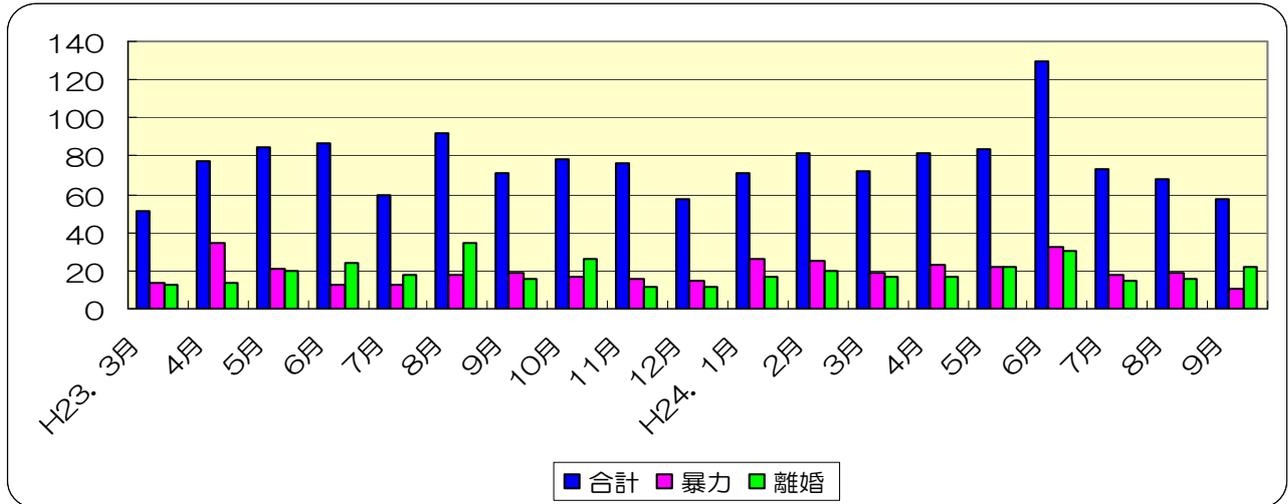
(2) 相談内容別件数について



(3) 来所による年齢別相談件数



#### (4) 震災後から現在までの月別相談件数



### 3. 震災後の相談状況について

#### (1) 避難者（いわき市及び双葉8町村）からの相談

- ① 避難所での夫からの暴力
- ② 仮設、借り上げ住宅での暴力
- ③ 生活環境の変化による暴力の深刻化及び人間関係の脆弱

#### (2) 住宅状況の悪化

- ① 別居したくても出来ない状況
- ② 仮設や民間借り上げからの転居の困難
- ③ 民間住宅の賃貸の困難及び公営住宅応募への集中

#### (3) 経済的に弱い立場の女性達

- ① 夫からの経済的な暴力
- ② 賠償金の世帯主口座への振り込み
- ③ 児童手当等の受取人は世帯主（別居中は世帯主の口座へ振り込み）

### 4. いわきふれあいサポート（DV等人権侵害被害女性支援民間団体）の活動状況

#### (1) いわきふれあいサポートの活動目的

- \* 女性保護事業の重要性を認識し、新しい時代の養成に応じた女性保護事業の充実強化の推進
- \* 女性の基本的人権の確立と地位向上を図る

- ① 活動の根拠となる法律
  - ・ 売春防止法（昭和32年施行）
  - ・ 配偶者の暴力防止及び被害者の保護に関する法律（平成13年制定）
- ② 活動内容
  - ・ DV等人権侵害被害女性への自立のための支援（シェルター活動含む）
  - ・ 電話相談
  - ・ 居場所「コスモスカフェ」の開催

## (2) 平成 22・23 年度の支援状況（シェルターへの一時保護等）について

	平成 22 年度	平成 23 年度
1. 支援件数	19 組（同伴児 15 名）	21 組（同伴児 17 名）
2. 支援者年齢	24 歳～66 歳（40.9 歳）	17 歳～68 歳（38.5 歳）
3. 同伴児年齢	7 ヶ月～18 歳	2 ヶ月～11 歳
4. 支援日数	163 日	206 日
5. 支援総額	659,324 円 (1)緊急一時支援資金 290,595 円 (2)生活準備資金 212,600 円 (3)シェルター光熱費 156,129 円 (ホテル利用代含)	1,299,172 円 (1)緊急一時支援資金 620,084 円 (2)生活準備資金 512,412 円 (3)シェルター光熱費 166,676 円 (ホテル利用代含)
6. 返済状況	224,679 円（支援者からの返還金）	161,000 円（支援者からの返還金）

## (4) いわきふれあいサポート主催事業について

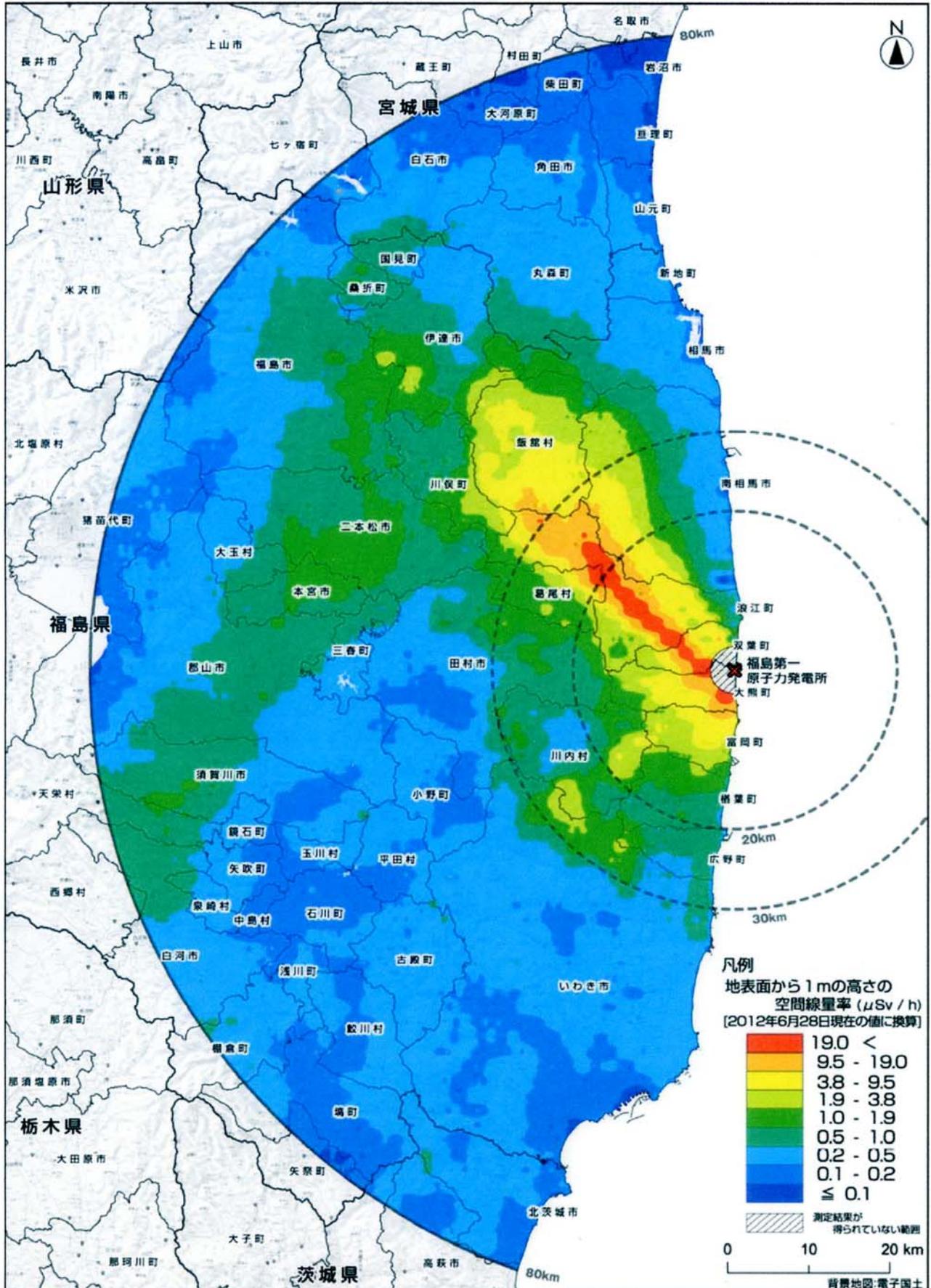
- ① 女性の居場所づくり おしゃべりカフェ「コスモス」の実施状況
  - ・ 開催日時 平成 23 年 10 月から毎月 1 回 第 1 水曜日午後開催中
  - ・ 開催場所 いわき市文化センター及びいわき市社会福祉協議会
- ② 電話相談について（今までは毎週水曜日 18:00～20:00 で実施）
  - ・ 事務所から携帯電話への転送し、随時相談可能とした



## (5) 内閣府による被災地における女性の悩み相談事業を受けて

- ・ 実施期間 平成 24 年 2 月 11 日～ 3 月 30 日（いわきのみ）
  - ・ 実施内容 震災県三県でのフリーダイヤルによる電話相談
  - ・ 実施状況 いわきふれあいサポート及び全国女性シェルターネットと日本フェミニストカウンセリング学会からの応援相談員の 3 名体制で受けた電話相談及び仮設等への出張での相談
- ① 期間中の相談件数 福島県 364 件（岩手県 280 件 宮城県 748 件）  
県内在住者から 77.5% 県外避難者から 22.5%
  - ② 主な相談内容
    - ・ 心身の不調など心理的問題
    - ・ 生きがいや孤独孤立などの生き方
    - ・ 家族関係の悩み
    - ・ 住環境、経済的な問題、放射能への不安
    - ・ 家族関係の悪化
  - ③ 電話相談を受けて感じたこと
    - ・ 原発事故（放射能被害）や環境の変化等による東電への不満
  - ④ 今後、期待する対応等 住居の問題解消及び経済的な自立のための就労

文部科学省による第5次航空機モニタリングの結果  
 (福島第一原子力発電所から80km圏内の地表面から  
 1m高さの空間線量率) (平成24年6月28日時点)



※本マップには天然核種による空間線量率が含まれている。